

Godox 神牛

AD600BM

WITSTRO⁺ ウィストロ

オールインワンアウトドアフラッシュ

All-in-One Outdoor Flash



深圳市神牛摄影器材有限公司
GODOX Photo Equipment Co., Ltd.

所在地/Add: 深圳市宝安区福永镇福洲大道西新和村华发工业园A4栋
Building A4, Xinhe Huafa Industrial Zone, Fuzhou RD West, Fuyong Town,
Baoan District, Shenzhen 518103, China
電話 /Tel: +86-755-29609320(8062) ファックス /Fax: +86-755-25723423
電子メール/E-mail: godox@godox.com
705-AD6BM0-12 Made In China

FC CE RoHS  

取扱説明書

はじめに

安全に本製品を使用することを確保するため、予め本取扱説明書をよく読んでください。

必要な時にすぐに取り出せるように大切に保管してください。

この度は神牛の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

AD600BMオールインワンアウトドアフラッシュはワイヤレス高出力フラッシュであり、リチウム電池と本体が一体化されており、携帯に便利です。内蔵神牛2.4 GワイヤレスXシステムを採用しており、X1シリーズトリガーと合わせると、リモートでM/Multiモードを制御してAD600BMの発光をトリガーでき、また、マスター・スレーブ機能を通じて、神牛カメラフラッシュ、アウトドアフラッシュ、スタジオランプと合わせて使用できる。AD600BMフラッシュを使用することによって、より簡単な撮影体験を得ることができ、撮影がより手軽になります。

AD600BMウィストロフラッシュはパワーが強く、電池容量が大きく、始終ハイスピードをサポートし、1台の本製品が太陽光より強く、むき出しフラッシュチューブとスタンダードリフレクターが屋外撮影と実景撮影に優れた光質を提供できます。AD600BMはオフカメラフラッシュにおける絶対的なタイプであり、携帯性と高効率光質を兼ね備えており、フリーランスカメラマン、新聞記者、マニア、撮影ファン、ウェディングドキュメンタリーカメラマンなどの理想的な光源です。

本製品は下記のメリットがあります。

ワイヤレスシステム完全互換：内蔵神牛2.4GワイヤレスXシステムを採用しており、Canon、NikonなどのM/Multi発光システムをサポートできます。ワイヤレス多灯発光システムのスレーブユニットとすることができ、撮影は簡単で便利です。

マトリックス液晶ディスプレイ：表示は直感であり、操作はより手軽です。

内蔵2.4Gワイヤレス伝送：80m超長距離で、クリエイティブは無限です。

スタジオ光質：パワーは600Wsに達しており、ガイドナンバーはGN87(ISO100、スタンダードリフレクター使用)です。

小型で携帯に便利：フラッシュチューブは抜き差し型であり、持ち運びに便利です。

専門的光源：大容量電源ボックス(11.1V/8700mAh)、0.01-2.5sリサイクル、500回以上フル発光

ワイヤレスコントロール：神牛2.4GワイヤレスXシステムを内蔵しており、リモートコントロールを実現できます。外付けの場合、神牛FT-16リモコンを使用でき、フラッシュのパワーなどをワイヤレスでコントロールし、また、シンクロにフラッシュをトリガーできます。同時に、3.5mmシンクロソケットとPCポートがあり、複数シンクロトリガー方式を実現できます。

豊かなアクセサリ：差し込み口はBowens差し込み口を採用しており、適用範囲が広く、アクセサリが整っており、豊かで実用です。

精確な調光：パワー調整範囲が大きく（1/1-1/256）、25段で精確に微調整でき、光効率をより手軽に把握できます。

コンスタント色温度：色温度は始終5600±200K範囲内に保持されています。

高級機能：1/8000秒ハイスピードシンクロ、ハイスピードストロボ、手動補助フォーカシング、ハイスピードリモコンシンクロトリガーなどをサポートします。

警告

▲ 乾燥を保ってください。

▲ 自分勝手に本製品を分解しないでください。製品に故障が出た場合、本社または授權された専門業者よりチェックし、メンテナンスします。

▲ 分解したり、ショックしたり、押ししたり、火の中に投げたりしてはいけません。厳しく膨らむと、引き続き使用しないでください。

▲ 50℃を超えた高温環境に置かないでください。

▲ フラッシュを人の目（特に赤ちゃんの目）に当てて発光しないでください。そうしないと、短期間に視力障害を起こす恐れがあります。

▲ 化学品、可燃性ガスまたは他の特殊物質の近くでフラッシュを使わないでください。これらの物質は特殊な状況でフラッシュに対し瞬間的な強光過敏を起こし、火災または電磁干渉をもたらす恐れがあります。このような場合、関係警告マークを参照してください。

▲ 本製品は防水できないため、雨天または湿っぽい環境で防水に注意してください。

目次

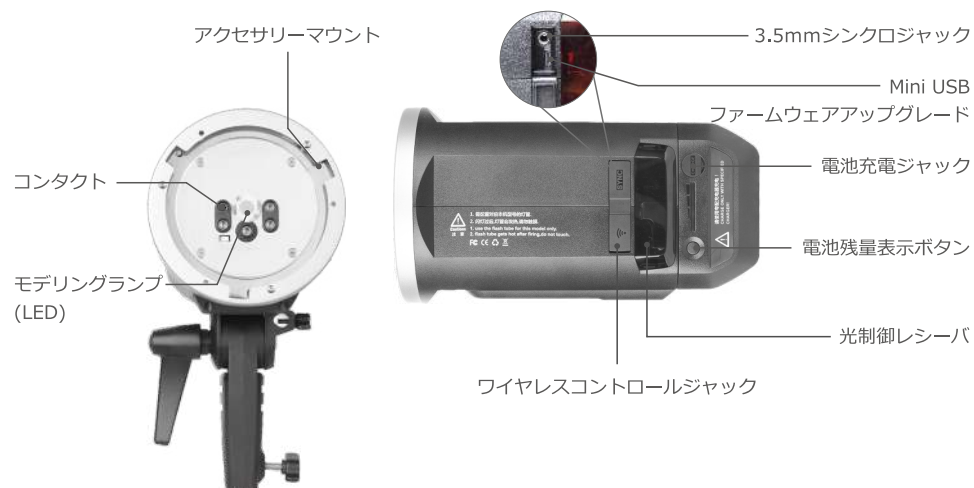
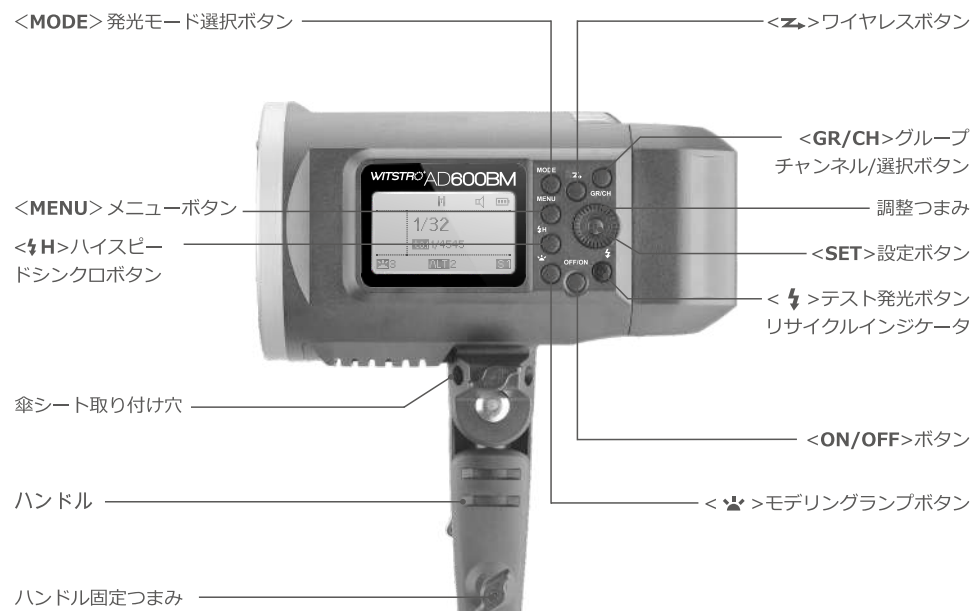
01	はじめに
02	警告
05	部品名称
	本体
	液晶ディスプレイ
	付属品
	別売オプション品
	リフレクター（またはアクセサリ）の着脱方法
	フラッシュチューブの着脱方法
	ハンドルの角度の調整方法
09	電池
10	電源管理
10	ワイヤレスモードの選択
11	発光モード——ハイスピードシンクロ
12	発光モード--M:手動発光
14	発光モード--Multi : ストロボ発光
15	ワイヤレスフラッシュ撮影 : ワイヤレス (2.4G) 伝送
	ワイヤレスの設定
	通信チャンネルの設定
	通信グループの設定
	ワイヤレスフラッシュ撮影
18	C.Fn : カスタム機能の設定
19	モデリングランプ
19	他の応用
	外付けワイヤレスコントロール機能
	シンクロソケットトリガー
20	保護機能
21	仕様
22	ファームウェアアップグレード
22	メンテナンスと保守

本取扱説明書の中で使われている約定

- 本取扱説明書に記載された操作ステップはカメラとフラッシュの電源スイッチがONにされているとします。
 - ページ参照は（**ページ目）の形式で表示されます。
 - 本取扱説明書は下記の警告マークを使います。
- ▲ この「留意」マークは撮影問題を避けるための警告です。
- 📌 この「注意」マークは補充情報を提供する意味を表します。

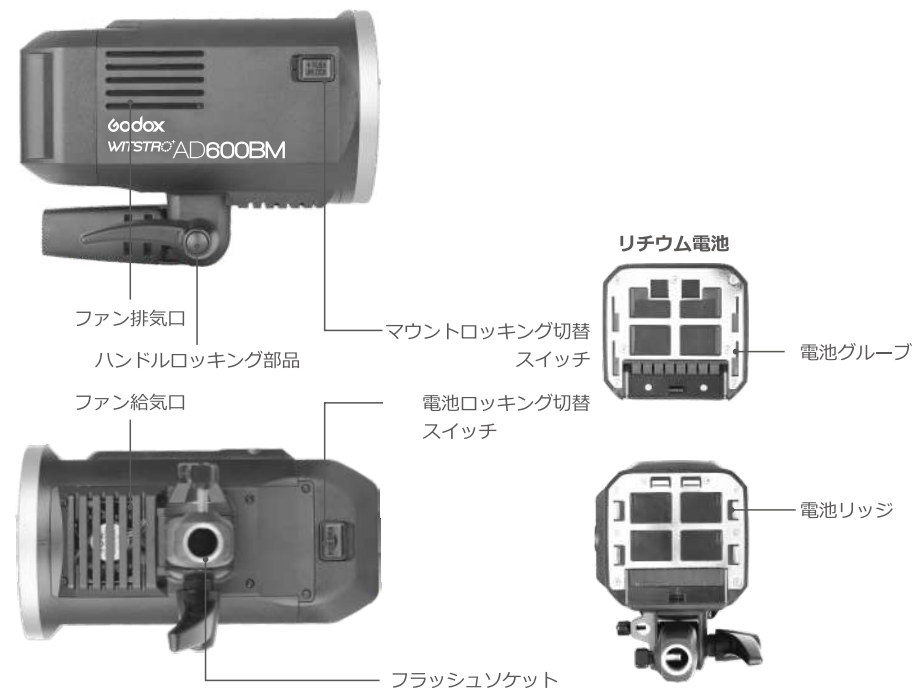
部品名称

本体 :



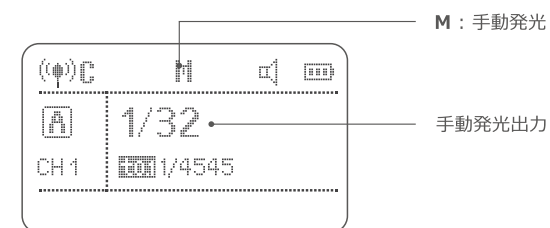
部品名称

本体 :



LCD液晶ディスプレイ

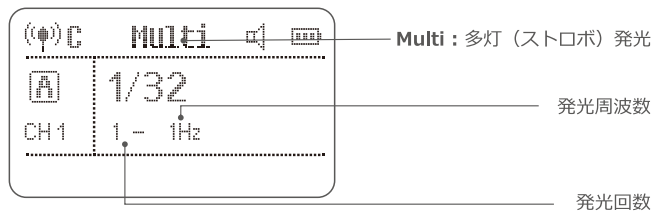
(1) M 手動発光



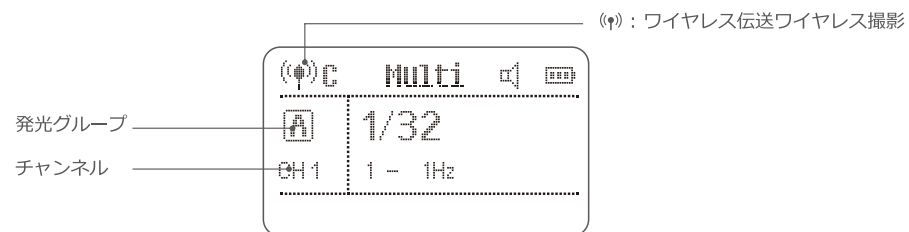
部品名称

LCD液晶ディスプレイ

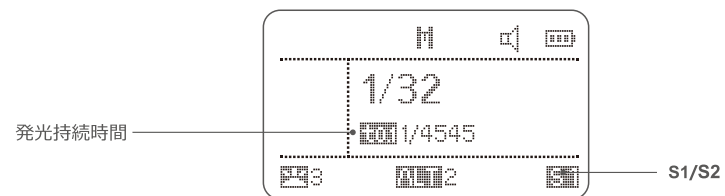
(2)Multiストロボ発光



(3)ワイヤレス伝送撮影



(4)スレーブユニット



付属品

- 1、フラッシュチューブ 2、リチウム電池 3、充電器 4、電源ケーブル 5、ランプヘッド保護カバー
6、取扱説明書



1



2



3



4



5

部品名称

別売オプション品

AD600BMはBowensマウントを採用しており、適用可能なアクセサリが豊かであり、また、弊社の下記の撮影アクセサリと合わせて使うことによって、最適な撮影効果と使用体験を獲得できます。

X1フラッシュトリガー、FT-16リモコン、ソフトボックス、レーダーカバー、折りたたみソフトボックス傘型、スヌート、ホルダーなど。



リフレクター(またはアクセサリ)の着脱方法



1、マウントロック切替スイッチを押します。



2、リフレクターをマウントに差し込んで、時計回りに沿って回してロックします。



3、取り付けが完了します。

フラッシュチューブの着脱方法



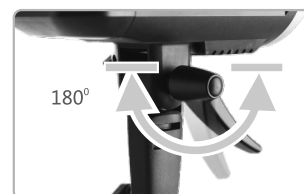
1、マウントロック切替スイッチを押して、リフレクターまたは他のアクセサリを取り外します。



2、フラッシュチューブをフラッシュソケットに合わせ、フラッシュを差し込みます。



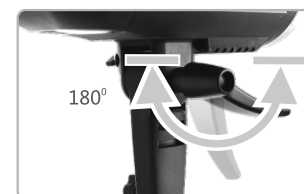
ハンドル角度の調整方法



1、ハンドルロック部品が抜き出されなかった状態で、時計回りに回すとロックし、反時計回りに回すとアンロックします。



2、ハンドルロック部品の回転角度はランプ本体下方の0~180°に制限され、ランプ本体にぶつかる前にハンドルロック部品を引き出して回転角度を調整してから、ステップ1を実行します。



電池

特徴

- 1.本製品はリチウム電池を使っており、500回の充放電サイクルをサポートし、耐用期間が長いです。
- 2.安全で信頼性が高く、内蔵回路は過充電保護、過放電保護、過電流保護、短絡保護を有しています。
- 3.付属している電池充電器を使う場合、4時間ぐらいで満充電になります。

注意事項

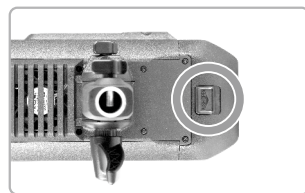
- ▲ 極性反転と短絡を避けてください。
- ▲ 電池は防水機能を有していないため、電池を霧または水の中に浸さないでください。
- ▲ 子供の手に届かないところに置いてください。
- ▲ 充電する場合、電池を24時間以上放置しないでください。
- ▲ 電池を涼しくて乾燥と通気の良いところに保管してください。
- ▲ 電池を火の近くまたは火の中に置かないでください。
- ▲ 電池を廃棄する時に地元のルールに従って処理してください。
- ▲ 3ヶ月以上電池を使わなかった場合、電池を充電してください。

電池の着脱

電池の装着:

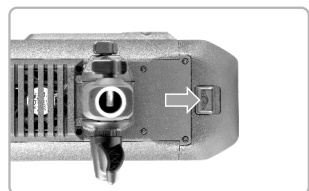


1 電池グループを本体の電池リッジに合わせます。

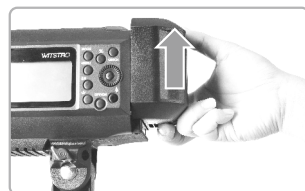


2 ロックされるまで電池を下へ押しします。

電池の離脱:



1 右へロックング部品を軽く押しします。



2 上へ電池を押し出します。

電池

電池残量表示

リチウム電池を正しくフラッシュに取り付けると、フラッシュに給電できます。使用時に、フラッシュのディスプレイにある電池アイコンをチェックするだけで電池残量を把握できます。

AVディスプレイ残量符号表示 (フラッシュシステム全体に対する電池残量表示と管理)	電池におけるLED表示 (ノンロードで、電池残量に対する表示と管理)	意味
3グリッド	赤色1+緑色3	電池残量はまだ十分あります
2グリッド	赤色1+緑色2	電池容量は減り始めました。
1グリッド	赤色1+緑色1	電池残量は低くなりました。
フレーム	赤色1	残量が僅かで、直ちに充電してください。
フレーム点滅		電池容量がすぐ切れます、この状態でフラッシュの操作をサポートせず、1分間後に自動的にシャットダウンします。 注：この状態になると、直ちに（10日以内）充電してから、使用したり、放置したりすることができます。

注：表示はほとんど一致しているが、段階切替時にすこし差別があります。

電源管理

*ON/OFFボタンを2秒長押しして、電源スイッチは本製品の起動とシャットダウンを制御できます。長時間にわたって使わない場合、電源を切ってください。本製品は電源自動シャットダウン機能を有しています。長期間（約1時間）で操作しなかった場合、フラッシュは自動にシャットダウンします。

C.Fn オフカメラ使用時に、カスタム機能を通じて「電源自動シャットダウン」機能をディスプレイにさせることをおすすめします (C.Fn-SLEEP 17ページ目)

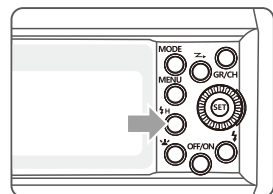
ワイヤレスモードの選択

AD600BMはスレーブユニット（レシーバ側）のみに利用されます。ワイヤレスボタンを押してワイヤレス伝送機能に切り替えることができます。ワイヤレス伝送モードでフラッシュはX1シリーズトランスミッターによって、自動にCanon(C)またはNikon(N)システムに切り替わって発光します。

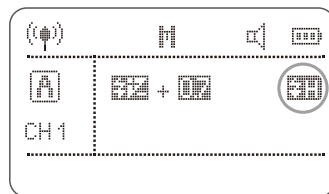
発光モード—ハイスピードシンクロ

ハイスピードシンクロ

ハイスピードシンクロ（FP発光）を使うと、あらゆるシャッター速度でシンクロでフラッシュを使うことができます。ハイスピードシンクロ発光は絞り優先を使って人物に対し充填発光を行なう時に特に便利です。



1 ハイスピードシンクロボタンを押して、ディスプレイに <H> アイコンを表示させます。

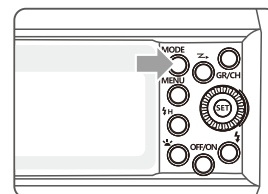


2 トランスミッターについて、X1シリーズトランスミッターを使ってください。

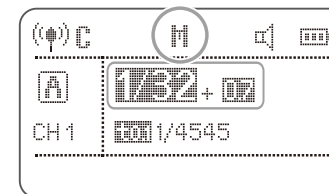
- シャッター速度はカメラの最大発光シンクロ速度と同じであったり、遅くなったり場合、ファインダーの中で <H> を表示しません。
- ハイスピードシンクロを使う場合、シャッター速度は高いほど、有効発光範囲は小さくなります。
- 普通発光に回復したい場合、再度ハイスピードシンクロボタンを押すと、<H> アイコンは消えます。
- ハイスピードシンクロモードで、ストロボ発光を設定できません。
- 引き続きハイスピードシンクロ発光を50回行った後、フラッシュの熱保護機能はイネーブルにされる可能性があります。

発光モード--M:手動発光

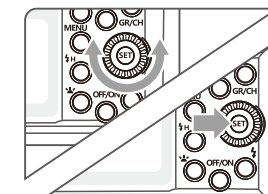
1/256パワー～1/1フルパワーの間で1/3段をステップとして発光出力を設定できます。正しいフラッシュ露出を獲得するため、手持ちのフラッシュ測光表を使って必要とする発光出力を確定してください。



1 <MODE> モード選択ボタンを押して、ディスプレイに <M> を表示させます。



2 調整つまみを回して、発光出力パワーを設定します。



3 <SET> 設定ボタンを押して、フラッシュ露出補正を確定します。

発光出力の表示

撮影過程で発光出力を変更する時、下記の表は例えば1/2-0.3→1/2+0.3のようにはっきりと絞り値の変更方法を示しています。発光出力を増やしたり、減らしたりする時に、絞り値の変更ルールをチェックすることができます。

例えば、発光出力量を1/2、1/2-0.3または1/2-0.7に減らして、それからそれを1/2、1/2+0.3、1/2+0.7以上に増やした時に、1/1に表示されます。

発光出力指数の減少 →

1/1	1/1-0.3	1/1-0.7	1/2	1/2-0.3	1/2-0.7	1/4
	1/2+0.7	1/2+0.3		1/4+0.7	1/4+0.3	

← 発光出力指数の増加

S1光制御ユニットの設定

M手動発光モードで、<MENU> ボタンを押して、C.FN-SLAVEに入り、S1機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使い、複数の照明効果を創り出すことができ、手動発光環境に適用されます。これはメインフラッシュの第1回発光と同調して発光をトリガーします。その効果はワイヤレスフラッシュトリガーを使うことと一致します。

S2光制御ユニットの設定

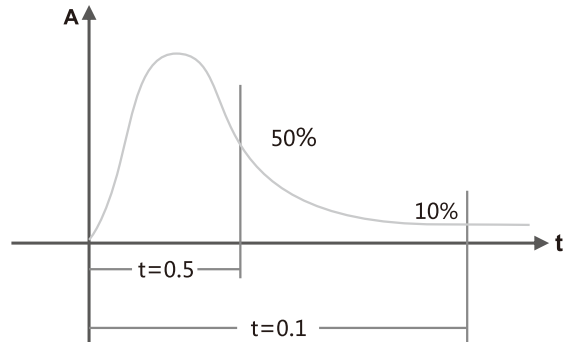
<MENU> ボタンを押して、C.Fn-SLAVEに入り、S2機能を選択すると、フラッシュはサブフラッシュとして使うことができ、TTL発光環境に適用されます。予備発光機能を持ち、1回予備発光機能付きのカメラを使う時に光制御によってシンクロ撮影を実現できます。これはメインフラッシュの第2回発光と同調して発光をトリガーできます。即ち、第2回光制御トリガーです。

- MモードのみでS1/S2光制御トリガーモードをサポートします。

発光モード——M：手動発光

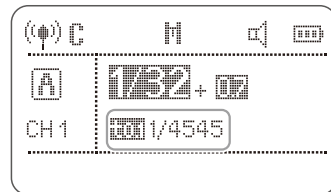
発光持続時間の表示

発光持続時間はフラッシュが発光開始から発光半値幅に達するまでの時間長さを指します。半値幅の表示は $t = 0.5$ です。カメラマンにより詳しい撮影数値を提供するため、本製品は $t = 0.1$ を採用しています。 $t = 0.5$ と $t = 0.1$ の区別は下記の図に示す通りです。



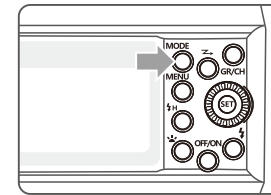
- Mモードのみで持続時間を表示します。

Mモードでハイスピードアイコン がない場合、持続時間を表示します。

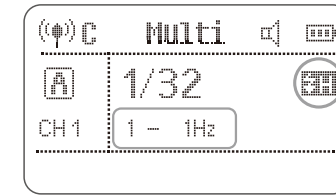


発光モード——Multi：ストロボ発光

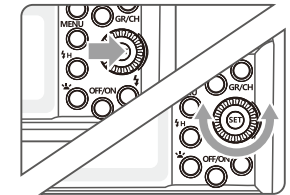
ストロボ発光を使用して、快速なシリーズ発光を出すことができます。このモードで1枚写真の上で移動被写体の複数画像を撮影できます。この機能によって、発光周波数（秒毎の発光回数、Hzで表示されます）、発光回数と発光出力を設定できます。



1 <MODE> 発光モード選択ボタンを押すと、ディスプレイに <MULTI> が表示されます。



2 調整つまみを回して発光出力パワーを設定します。



3 発光周波数と発光回数を設定します。

- <SET> ボタンを押して発光回数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
- <SET> ボタンを押して発光周波数を選択し、調整つまみを回して数値を設定します。
- <SET> 設定ボタンを押して確認すると、あらゆる設定はいずれも表示されます。

シャッター速度の計算

ストロボ発光過程において、発光停止までシャッターは起動状態を保持すべきです。

下記の計算式によってシャッター速度を計算してから、カメラで設定します。

$$\text{発光回数} / \text{発光周波数} = \text{シャッター速度}$$

例えば、発光回数は10であり、発光周波数は5Hzであるとする、シャッター速度は少なくとも2秒になります。

- ⚠ フラッシュヘッドの過熱と損害を防ぐため、引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なわないでください。発光10回後、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。引き続き10回以上のストロボ発光連続撮影を行なう場合、フラッシュヘッドの過熱を防ぐため、発光は自動的に停止することがあります。このような場合、フラッシュを少なくとも15分冷却させてください。

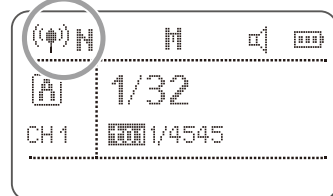
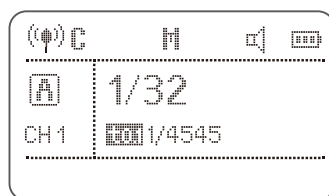
- 反射の強い被写体の場合、暗い背景の前でストロボ発光を使うとより効果的です。
- 三脚とリモコンスイッチの使用をお勧めします。
- 発光出力は1/1と1/2である場合、ストロボ発光を設定できません。
- ストロボ発光時でも「buLb」を使うことができます。
- 発光回数は--に表示された場合、シャッターシャットダウンまたは電池切れまでフラッシュは引き続き発光します。下記の表に示すように、発光回数は制限されます。

最大ストロボ発光回数

発光出力 \ Hz	1	2	3	4	5	6-7	8-9	10	11	12-14	15-19	20-50	60-100
1/4	7	6	5	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2
1/8	14	14	12	10	8	6	5	4	4	4	4	4	4
1/16	30	30	30	20	20	20	10	8	8	8	8	8	8
1/32	60	60	60	50	50	40	30	20	20	20	18	16	12
1/64	90	90	90	80	80	70	60	50	40	40	35	30	20
1/128	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40
1/256	100	100	100	100	100	90	80	70	70	60	50	40	40

ワイヤスフラッシュ撮影：ワイヤス（2.4G）伝送

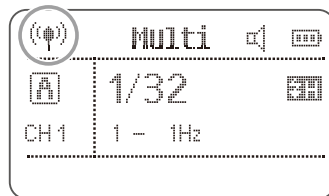
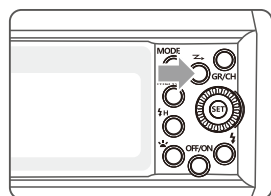
AD600BMは神牛2.4GワイヤスXシステムを使っており、弊社の他のタイプと完璧に組合わせて使うことができます。スレーブユニットとしてマスターユニットに従って自動に切り替わり、手動で設定する必要がありません。マスター信号をレシーブすると、ディスプレイに相応する「C」または「N」を表示します。Nikonカメラ（X1T-N、TT685Nなど使用）、Canonカメラ（X1T-C、TT685Cなど使用）は同時同所で1台または複数台のAD600BMをシェアすることができ、順調に組み合わせ、何の問題もありません。



*AD600BMはスレーブユニットとされます。AD600BMを制御できるマスターユニットはAD360 II -C、AD360 II -N、TT685C、TT685N、X1T-C、X1T-N、TT600です。

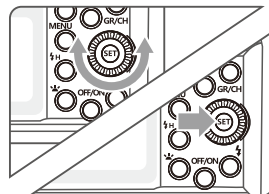
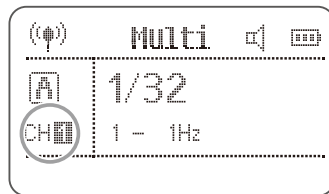
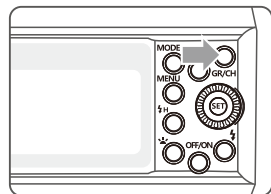
ワイヤスの設定

再度<Z>ワイヤス設定ボタンを押して、ディスプレイに<(C)>を表示させます。



通信チャンネルの設定

撮影現場で一つ以上のワイヤスフラッシュシステムがある場合、通信チャンネルの変更を通じて信号の干渉を防ぐことができます。マスターユニットとスレーブユニットは同じチャンネル番号に設定されたことを確認するだけで良いです。



1 <GR/CH> ボタンを2秒長押しすると、チャンネル番号は逆方向に表示されます。

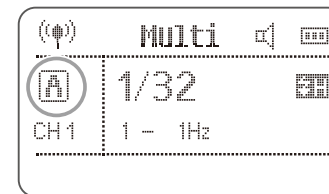
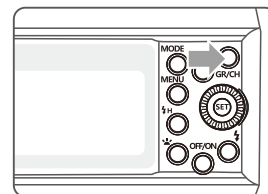
2 調整つまみを回して1~32の中からチャンネルを選択します。

3 <SET> 設定ボタンを押して確認します。

ワイヤスフラッシュ撮影：ワイヤス（2.4G）伝送

通信グループの設定

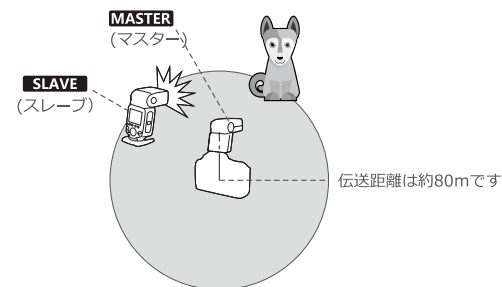
<GR/CH> ボタンを短押しすると、A~Eグループは順次に変化します。



ワイヤスフラッシュ撮影

配置と操作範囲（ワイヤスフラッシュ撮影例）

- 一つのスレーブユニットを使って自動発光撮影を行いません。



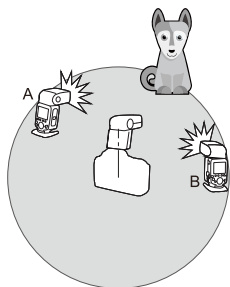
- 付属のマイクロホルダーによってスレーブユニットを固定します。
- 撮影前にテスト発光とテスト撮影を行なってください。
- スレーブユニットの位置、周辺環境、天気状況などの影響によって、伝送距離はより短くなる場合があります。

ワイヤレスフラッシュ撮影：ワイヤレス（2.4G）伝送

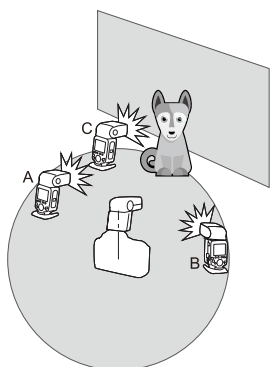
ワイヤレス多灯発光撮影

各発光グループ（五つのグループまで）に異なる発光モードを設定し、または、その発光モードを使って撮影できます。

- 二つのスレーブグループによって、自動発光撮影を行ないます。



- 三つのスレーブグループによって、自動発光撮影を行ないます。



C.Fn：カスタム機能の設定

カスタム機能符号	機能	設定符号	設定と説明	使用範囲制限
BEEP	ブザー	ON	起動	無し
		OFF	シャットダウン	
SLAVE	S1/S2モード選択	OFF	シャットダウン	Mモード
		S1	S1モード	
		S2	S2モード	
FAN	ファン動作モード	OFF	シャットダウン	無し
		AUTO	温度<45°：シャットダウン	
			温度>45°：ローレベル	
	温度>60°：ハイレベル			
SLEEP	電源自動シャットダウン	OFF	シャットダウン	無し
		1HR	何の操作もない場合自動にシャットダウンします	
		2HR		
		3HR		
LIGHT	バックライト点灯時間	12sec	12秒後に自動消灯します	無し
		OFF	ずっと消灯	
		ON	ずっと点灯	
DELAY	遅延発光	OFF,0.01~30S	後幕トリガーとすることができます	M/Multiモード
UNITS	フラッシュ合計数	2~4	UNITSとALTは必ず組合わせて使うべきです。UNITSはフラッシュ	Mモード
ALT	トリガー回数		合計数を設定しています。ALTは何回トリガーされてから発光すること	Mモード
LCD	液晶ディスプレイコントラスト	0~9	を設定しています。 10レベル	
RESET	パラメーターリセット	NO		無し
		YES	リセット	

1.<MENU> ボタンを押して、右上にある「Ver X.X」はソフトウェアのバージョンナンバーを示します。

2.カスタム機能符号の選択

調整つまみを回してカスタム機能符号を設定します。

3.設定の変更

- <SET> 設定ボタンを押すと、カスタム機能番号はハイライト表示されます。
- 調整つまみを回して欲しい番号を設定します。<SET> ボタンを押して確認します。

4.C.Fnメニューの退出

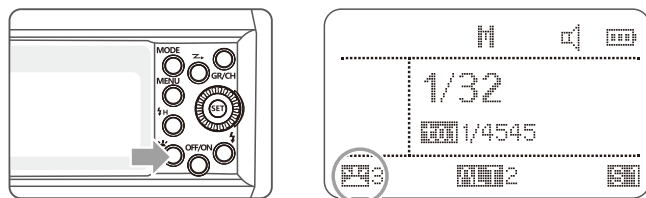
- <MODE> ボタンを押して退出します。

モデリングランプ

モデリングランプ

AD600BMは10W LEDモデリングランプを搭載しており、3段階コントロールと2種類常時点灯モードを有しています。

- モデリングランプボタンを短押しして、段階を設定できます。
 - 1段：30%出力、30分後自動消灯（過熱防止）
 - 2段：60%出力、20分後自動消灯（過熱防止）
 - 3段：100%出力、10分後自動消灯（過熱防止）
- モデリングランプボタンを2秒長押しして、モデリングモードを設定できます。
 - 1.常時点灯
 - 2.トリガー時にモデリングランプは消灯します。

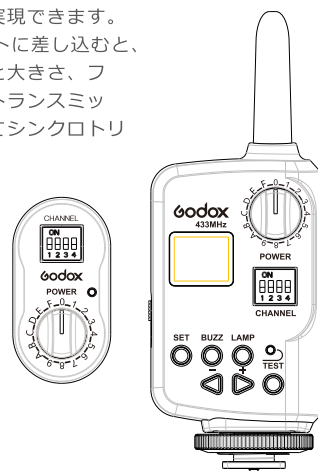


他の応用

外付けワイヤレスコントロール機能

フラッシュはワイヤレスコントロールソケットを内蔵しており、特定のリモコンと組み合わせて使用すると、フラッシュのワイヤレスコントロールを実現できます。FTシリーズリモコンのレシーバ側をワイヤレスコントロールソケットに差し込むと、リモコントランスミッターを通じて、フラッシュのパワースイッチと大きさ、フラッシュのトリガーなどをリモートコントロールできます。また、トランスミッター側をカメラのホットシューに置き、カメラのシャッターを通じてシンクロトリガーを行なうこともできます。

● もっと多いリモコン使用方法について、FTシリーズリモコンの取扱説明書を参照してください。



シンクロソケットトリガー

シンクロソケットの規格はΦ3.5mmであり、ここにシンクロケーブルまたはトリガープラグを差込み、フラッシュに対しシンクロトリガーを行なうことができます。

保護機能

1.熱保護

- フラッシュヘッドの過熱と損傷を防ぐため、1/1パワーで100回を超えた快速連続発光を行なわないでください。100回連続発光を行なった後、少なくともフラッシュを10分冷却させます。
- 100回を超えた連続発光を行なった後、直ちに引き続き複数の発光を行なうと、フラッシュ内部の過熱防止機能はイネーブルになる可能性があり、リサイクル時間は10秒以上になります。この現象が起こった場合、フラッシュを約10分間冷却させると、フラッシュは正常に戻ります。
- 熱保護が起動すると、ディスプレイに符号 **E1** が表示されます。

熱保護機能をイネーブルにさせる連続発光回数：

パワー	回数
1/1	100
1/2(+0.3,+0.7)	150
1/4(+0.3,+0.7)	200
1/8(+0.3,+0.7)	300
1/16(+0.3,+0.7)	400
1/32(+0.3,+0.7)	500
1/64(+0.3,+0.7)	1000
1/128(+0.3,+0.7)	
1/256(+0.3,+0.7)	

ハイスピードシンクロモードで、熱保護機能をイネーブルにさせる連続発光回数：

パワー	回数
1/1	50
1/2(+0.3,+0.7)	60
1/4(+0.3,+0.7)	75
1/8(+0.3,+0.7)	100
1/16(+0.3,+0.7)	150
1/32(+0.3,+0.7)	200
1/64(+0.3,+0.7)	300
1/128(+0.3,+0.7)	
1/256(+0.3,+0.7)	

2.保護機能

- デバイスの安全を保証するため、システムは常に予防保護を行なっています。参照として下記に提示符号を提供します。


LCD表示	警告内容
E1	フラッシュのリサイクルシステムに故障があります。リサイクルトリガーを行なうことができない場合、再起動してください。再起動しても役立つ場合、メンテナンスしてください。
E2	デバイスの内部温度が高過ぎて、トリガーを10分間中止してください。
E3	フラッシュチューブの両端に電圧が高過ぎて、メンテナンスしてください。
E9	ファームウェアアップグレードに誤りがあります。正しくファームウェアをアップグレードしてください。

仕様

タイプ	AD600BM
発光モード	M/Multi
ガイドナンバー(1/1段)	87(m ISO 100、リフレクター使用)
発光持続時間	1/220秒～1/10000秒 (T0.1)
POWER	600W
段階	9段:1/256～1/1
ストロボ発光	あり(回数:100回;周波数:100Hz)
シンクロ方式	ハイスピードシンクロ(最高1/8000秒)、先幕シンクロ、前帘同步、後幕シンクロ
遅延トリガー	0.01～30秒
マスク	√
ファン	√
ブザー	√
Model モデリングランプ(LED)	10W
光制御トリガー	S1/S2
発光持続時間表示	√
表示	マトリックスパネル
ワイヤレス発光(ワイヤレス2.4G伝送)	
ワイヤレス機能	スレーブユニットシャットダウン
制御可能スレーブユニットグループ	5グループ : A,B,C,D,E
伝送範囲(約)	80m
チャンネル	32グループ:1～32
電源	
電源	リチウム電池(11.1V/8700mAh)
フルパワー発光回数	500回
リサイクル時間	約0.01-2.5秒
電池残量指示	√
節電	何の操作もしなかった場合、フラッシュは1時間後に自動的にシャットダウンします。
シンクロトリガー方式	3.5mmシンクロケーブルワイヤレスコントロールコンセント
色温度	5600±200K
サイズ	
体積(電池を含みます)	220x245x125mm (フラッシュチューブとリフレクターを含みません)
正味重量(電池を含みます)	2.69 Kg (フラッシュチューブとリフレクターを含みません)

ファームウェアアップグレード

本製品はUSBポートを通じてファームウェアアップグレードを行なうことができます。ソフトウェアの最新情報及びその説明は公式サイトをご参照ください。

 注：出荷する場合、USBアップグレードケーブルを同梱していないため、別に購入してください。普通のUSBケーブルは使用可能です。本製品のUSBポートはMicro USBポートです。

メンテナンスと保守

- フラッシュは作動している時に異常が起こった場合、直ちに電源を切り、原因を究明してください。
- 本体を振動させないでください。日頃本体表面のちりを掃除してください。
- 本体にわずかに熱が発生することは正常です。特別な需要はない場合、連続にトリガーしないでください。
- フラッシュのあらゆるメンテナンスは弊社の指定したオリジナル部品提供可能な修理業者より担当します。
- 保証期間は1年間です。フラッシュチューブなどの消耗品は保証範囲内に属しません。
- 自分勝手にフラッシュを修理した場合、フラッシュの1年間保証期間が取り消されます。メンテナンスする時、関係費用を受け取ります。
- 本製品は故障が起こったり、水に濡れられたりした場合、専門業者にメンテナンスされた後、はじめて使用できます。
- 弊社は予告なしに技術を変更することがあります。